ＸⅢ.「児童虐待」について（問 31～問 33）

現在、児童虐待に関する相談件数は全国的に増え、児童虐待は深刻な問題となっています。

しかし、児童虐待は特別なことではありません。普通の家庭でも起るもので、豊橋市では、児童虐待の早期発見、対応に取り組んでいます。

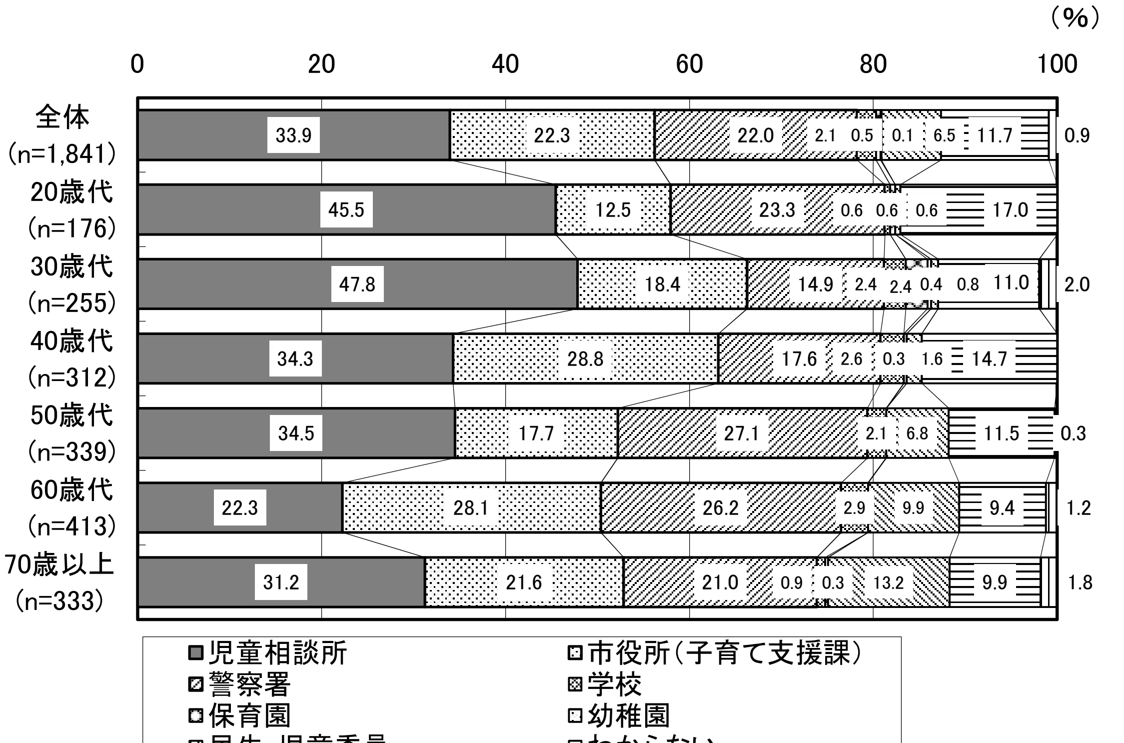
【問 31】児童虐待の相談（通告）窓口についてお聞きします。もし相談（通告）する場合、まずどこに相談（通告）しますか。(n=1,841)

（１）全体的傾向

「児童相談所」と回答した人の割合が約 34%と最も高く、次いで「市役所（子育て支援課)」と回答した人の割合が約 22%となっている。

（２）年代別にみた特性

20 歳代と 30 歳代では、「児童相談所」と回答した人の割合が約 46%～48%となっており、他の年代と比べて高くなっている。



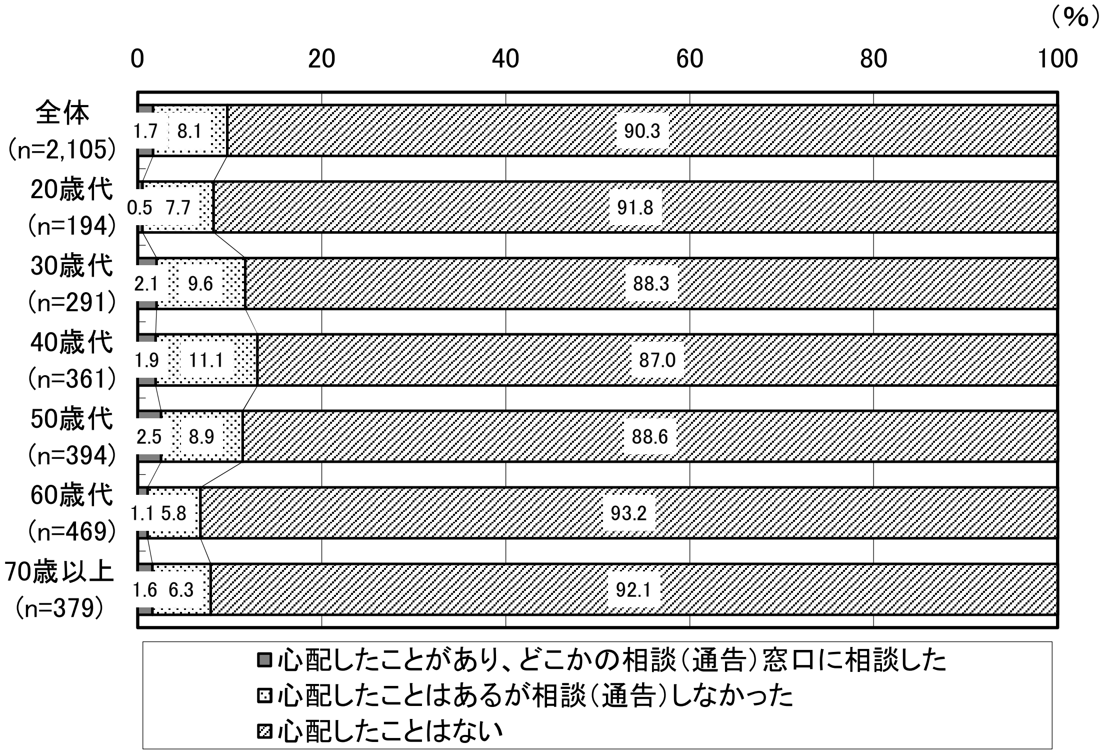
【問 32】過去に、自分の周りの子どもが児童虐待を受けているのではないかと心配したことがありますか。(n=2,105)

（1）全体的傾向

「心配したことはない」と回答した人の割合が約 90%を占め、「心配したことがあり、どこかの相談（通告）窓口に相談した」と「心配したことはあるが相談（通告）しなかった」を合わせた「心配したことがある」人の割合が約 10%となっている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも「心配したことはない」と回答した人の割合が約 87%～93%と高くなっている。



＜問 32 で「２．心配したことはあるが相談（通告）しなかった」と答えた方にお聞きします。＞

【問 33】その理由は何ですか。(n=167)

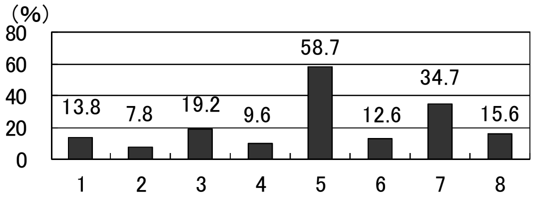
（１）全体的傾向

「虐待かどうかわからなかった」と回答した人の割合が約 59％と最も高く、次いで、「しばらくして落ち着いてしまった」と回答した人の割合が約 35％となっている。

（２）年代別にみた特性

各年代とも、「虐待かどうかわからなかった」と回答した人の割合が約 39％～67％と高くなっている。また、60 歳代で「相談する場所がわからなかった」と回答した人が約 35％と、他の年代よりも高くなっている。

●全体(n=167)

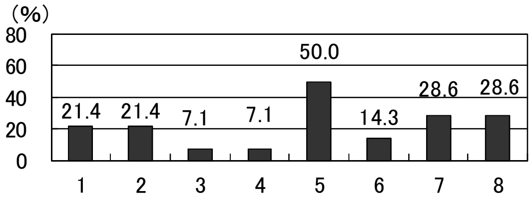


1． 相談する場所がわからなかった
2． 自分以外の周りの人が対応すると思った
3． 相談することで大事(おおごと)になると思った
4． 相手に相談したことが知られると思った
5． 虐待かどうかわからなかった
6． 「しつけ」の一環だと思った
7． しばらくして落ち着いてしまった
8． その他

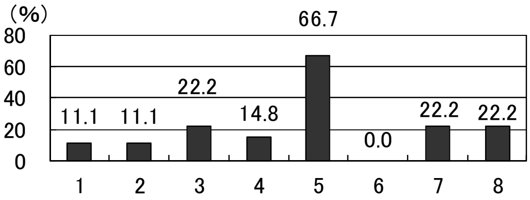
（複数回答）

●年代別

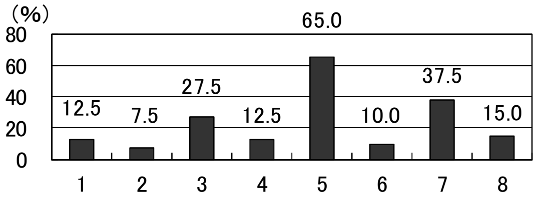
20歳代(n=14)



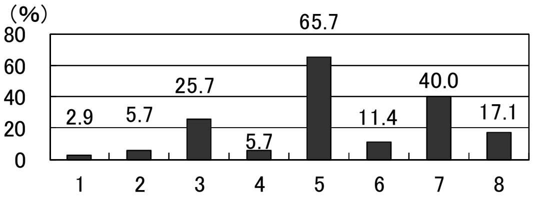
30歳代(n=27)



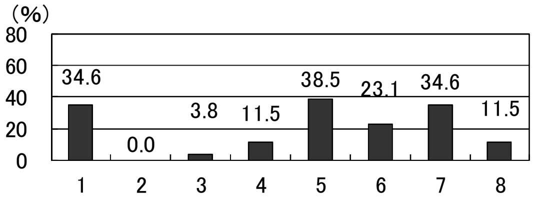
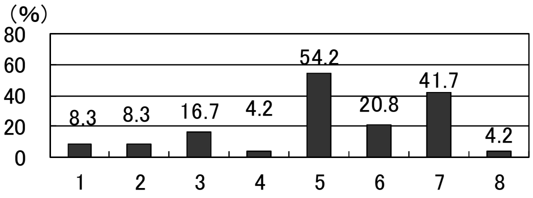
40歳代(n=40)



50歳代(n=35)



60歳代(n=26)



70歳以上(n=24)